

2026年度

感染管理認定看護師教育課程
特定行為研修を組み込んでいる教育課程（B課程）

募集要項

大阪公立大学
大阪国際感染症研究センター

I. 教育課程

1. 教育理念

高度・専門分化する医療をはじめ、変化する保健医療福祉環境の中で、特定看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践ができる認定看護師を育成することによって、臨床現場における看護の役割の拡大と、看護ケアの質の向上に寄与する。

2. 教育目的

- 1) 感染管理分野において、個人、家族及び集団に対して、医療関連感染予防のための高度な管理力及び高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。
- 2) 感染管理分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
- 3) 感染管理分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。
- 4) 感染管理分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

3. 期待される能力

- 1) 施設及び地域の状況を評価し、医療関連感染予防・管理システムを組織的かつ戦略的に構築し推進することができる。
- 2) 施設の状況にあわせた医療関連感染サーベイランスを実践できる。
- 3) 感染リスクの高い患者あるいは感染徴候のある患者を多角的に捉え、臨床推論力と病態判断力に基づいた実践により、感染症の進行や重症化を予防し回復を促進することができる。
- 4) 感染管理分野において役割モデルを示し、看護職への指導、看護職等へのコンサルテーションを行うことができる。
- 5) より質の高い医療を推進するため、多職種と協働し、チーム医療のキーパーソンとして役割を果たすことができる。
- 6) 医療等を提供する場で働くあらゆる人々や患者とその家族に対し、倫理的配慮を行いながら医療関連感染予防と管理、抗菌薬の適正使用等における実践ができる。

4. 教育期間

10ヶ月（2026年9月～2027年6月）

年間スケジュール（予定）

9月	就学式・ガイダンス e-ラーニングによる学習
10月、11月、12月、1月	講義・演習・科目試験（集合研修およびオンライン研修）
1月～2月	認定分野 臨地実習
3月中旬	統合演習
3月～5月	特定行為臨地実習
6月初旬	修了試験
6月末	修了式

5. 教育基準カリキュラム、授業時間数

1) 教科目および時間数

共通科目	専門科目	演習・実習
(e-ラーニング)	認定看護分野専門科目	
臨床病態生理学 40	感染管理学 15	統合演習 15
臨床推論・医療面接 60	疫学と統計学 30	臨地実習 150
フィジカルアセスメント(基礎・応用) 60	微生物学 30	
臨床薬理学(薬物動態・薬理作用・薬物理療・管理) 60	医療関連感染サーベイランス 45	
疾病・臨床病態概論・状況別 55	感染防止技術 30	小計 165 時間
医療安全学：医療倫理 15	職業感染管理 15	※特定行為に関する臨地実習は、授業時間数には含まない
医療安全学：医療安全管理 15	感染管理指導と相談 15	
チーム医療論/特定行為実践指導 30	洗浄・消毒・滅菌とファシリティマネジメント 15	
指導 15	小計 195 時間	
相談 15	特定行為研修区分別科目	
看護管理 15	(e-ラーニング)	
小計 380 時間	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 22	
	感染に係る薬剤投与関連 39	
	小計 61 時間	
合計時間数 801 時間		

* 認定看護師教育基準カリキュラムでは45分を1時間とみなす「みなし時間」を適用している。特定行為研修は60分を1時間とする「実時間」を適用しているが該当時間の時間数は全て「みなし時間」で設定し表記している。

2) 教育形態

- ① 講義・演習・実習：週5日（月～金）を基本とする。
- ② 共通科目と特定行為研修区分別科目はe-ラーニングを基本とする。
※集合研修が必要な演習は大阪公立大学阿倍野キャンパスで実施する。
- ③ 特定行為研修区分別科目の臨地実習は、自施設で行うことを基本とする。自施設で実習を行う利点として、実習中や教育課程修了後においても継続した指導医の指導やサポートのもとで、安全に特定行為の実践ができると考えている。
※自施設で症例が経験できない、指導医が不在などの理由で自施設実習が困難な場合は、他施設実習も考慮する。

6. 修了要件

教育課程の修了要件は、以下の各項目を遵守したものである。

- ① 教育基準カリキュラムで定める全教科目（共通科目、認定看護分野専門科目、特定行為研修区分別科目、統合演習、臨地実習）において、各科目の履修すべき時間数の5分の4以上の出席がある。
- ② 教育課程の定める各科目の試験に合格している。
- ③ 教育課程の定める修了試験に合格している。

7. 修了証書の交付

修了要件をすべて満たし、本教育課程の修了を認定された者には修了証書を交付する。

II. 2026年度就学選抜試験実施要項

1. 募集人数

24名

2. 受験資格

受験申請にあたっては、次の各項に定める要件をすべて満たしていること。

【必須要件】

- 1) 日本国の看護師免許を有する。
- 2) 看護師の免許取得後、通算5年以上（就学時点で可）の実務研修^{注1)}をしている。
- 3) 前号の年数のうち通算3年以上は（就学時点で可）、以下の実務研修をしている。
 - ① 通算3年以上、感染管理に関わる活動実績（感染対策委員会、ICT、リンクナース会等）を有すること。
 - ② 感染予防・管理などにおいて自身が実施したケアなどの改善実績を1事例以上有すること
 - ③ 医療関連感染サーベイランス実施における一連の流れを理解していることが望ましい。
 - ④ 現在、医療施設等において、専任または兼任として感染管理に関わる活動に携わっていることが望ましい。

^{注1)} 実務研修とは、看護実務経験を意味する。2007年7月に厚生労働省によって認定看護師が専門性の広告を認可された際、認定看護師の要件に実務研修という表現を使うことが決定された。

【留意点】

- 1) 研修期間、皆勤できる配慮を所属長とも十分相談できていること。
- 2) 特定行為に関する実習は、自施設実習が基本であることを所属長が認識しており、自施設での特定行為実習ができるように調整可能なこと。
※自施設で実習ができないときは応募時に相談すること。
- 3) 本教育課程では、講義・演習・臨地実習において、原則土日を除く週5日間とする。
- 4) 各科目においては履修すべき時間数の5分の4以上の出席が必要である。また、授業時間以外の多くの時間を授業の予習・復習、レポート提出、試験準備などに費やす必要がある。
- 5) e-ラーニング学習期間は、毎日取り組める環境が必要である。
- 6) 特定行為研修修了者の受講科目に関する免除はない。すべての科目の受講が必要である。

3. 出願手続

1) 募集要項入手方法

ホームページの「2026年度版 感染管理認定看護師教育課程 募集要項」から必要書類をダウンロードしてください。

2) 願書受付期間

2026年5月18日（月）～ 2026年6月5日（金）（当日消印有効）

3) 就学選抜試験提出書類

書式に基づきご記入ください。

- ① 就学願書（様式1）
- ② 履歴書（様式2）
- ③ 実務研修報告書（様式3）
- ④ 志望理由（様式4）
- ⑤ 勤務証明書（様式5）・・・看護部長あるいは担当課で作成
- ⑥ 推薦書および同意書（様式6）・・・病院長あるいは同等職位の所属長が作成し厳封したもの
- ⑦ 感染予防・管理の活動実績 事例要約（様式7）
- ⑧ 写真票および受験票（様式8）
- ⑨ 就学審査料の振込利用明細書の写し・・・様式8に貼付
- ⑩ 看護師免許証の写し（A4版縮小コピー） 1部

- ⑪ 受験票郵送用封筒（長型3号：120mm×235mm）
簡易書留郵便料460円分の切手を貼付し、返信先を明記すること
- ⑫ 就学選抜試験提出書類確認用紙（様式9）

※個人情報の取り扱い：出願にあたって提供された氏名、住所その他の個人情報については、本教育課程における選考試験（出願処理、選考実施）、合格発表ならびに就学手続など、これらに付随する業務においてのみ利用します。

4) 就学審査料

- ① 審査料 55,000円
- ② 振込先
三井住友銀行 大阪公務部 普通預金
口座番号：0138601 加入者名：公立大学法人大阪
- ③ 注意事項
 - ・振込依頼人名は受験者の氏名を入力してください。
＜例：オオサカハナコ＞
※施設名となる場合は、事前にご連絡ください。
 - ・入金は願書受付期間のみの受付となります。期日前には振り込みをしないようご注意ください。
 - ・振込手数料は受験者負担とします。
 - ・振込時に金融機関から発行される利用明細書や振込明細書の写しを様式8に貼付してください。
 - ・銀行で発行される利用明細書をもって、本学の領収証といたします。
 - ・既納の就学審査料は原則として返還できませんので、あらかじめご了承ください。

5) 願書提出方法

郵送のみ。封筒に宛名を明記し、簡易書留で下記まで郵送してください。
また、封筒に「出願書類在中」と朱書きで明記してください。

〒545-0051
大阪市阿倍野区旭町1丁目5番17号
(大阪公立大学阿倍野キャンパス看護学部学舎B棟1階事務室)
大阪国際感染症研究センター 感染管理認定看護師教育課程事務局 宛

6) 受験票の発行

提出書類一式を審査し、受験が認められた方には、受験票を郵送します。
2026年6月26日（金）までに届かない方は、事務局へご連絡ください。

4. 就学試験日程と会場

1) 実施日

2026年7月7日（火）

2) 試験科目及び実施時間

	時間	試験科目
筆記試験	9：15～12：00	小論文 専門科目
面接	13：00～	個人面接

※面接は原則、受験番号順とします。

3) 試験会場

大阪公立大学阿倍野キャンパス看護学部学舎B棟
大阪市阿倍野区旭町1丁目5番17号

[阿倍野キャンパス](#) | [キャンパス案内](#) | [大阪公立大学について](#) | [大阪公立大学](#)

4) 当日持参物品

- 受験票、筆記用具
- 5) 感染対策
発熱や体調不良などの症状がある方の来館はお断りいたします。就学試験の追試験は実施いたしません。

5. 就学試験の出題形式について

- 1) 小論文
文章力、看護についての考え方、論理的思考を問う。
- 2) 専門科目（客観式問題・状況設定問題）
専門分野の基礎的知識と専門的知識を問う。
問題を判読・判断し、アセスメントできる能力と、適切な実践方法を展開する能力を問う。
- 3) 面接
就学の志望理由などを問う。

6. 選抜方法及び選考基準

出願後、就学要件について書類審査を行う。
就学資格があるものに対し、小論文、専門科目筆記試験（客観式問題・状況設定問題）、面接を実施し、試験の内容を総合して、入試委員会にて審議し決定する。

7. 合格発表

2026年7月14日(火)に合格者の受験番号を大阪国際感染症研究センターのホームページに掲載します。また、同日に本人宛に通知を発送します。電話での合否の問い合わせには応じられません。不合格者への郵送による通知はありません。

8. 情報の開示

開示請求があった場合は、不合格者に限り受験者本人であることを確認の上、就学試験の総合得点を開示します。情報開示を希望される場合は事務局へご連絡ください。

【開示期間：試験結果発表後1か月以内】

9. 就学手続

- 1) 就学手続きについては、合格通知時にご案内します。
- 2) 納付金
就学料 82,500円
受講料 1,430,000円
※特定行為実習を自施設以外で実施の場合は特定行為実習費（最大100,000円）が別途必要
- 3) 納付金は一括前納です。ただし、事情により分割納入を認めることがあります。
- 4) 分割納入を希望される方は就学手続き時にお問い合わせください。
- 5) 一旦納めた納付金は原則として返還しません。
- 6) その他の経費
- ① 教育課程のテキストは特にありません。講師の指示で講義時に使用される場合がありますが、数冊です。これは事前にお知らせします。
 - ② 実習を含め本課程受講にかかる図書費・交通費・宿泊費などは自己負担となります。

問い合わせ先

大阪国際感染症研究センター 感染管理認定看護師教育課程事務局
【大阪公立大学阿倍野キャンパス看護学部学舎B棟1階事務室】
TEL:06-6645-3552（土曜・日曜・祝日を除く9:00~17:00）
E-mail: gr-sngk-ninteikango@omu.ac.jp